

ねこのあいしゃん

R6.11

しほ



春の内科検診の前に奥塾先生に
聴診器をかいてもらって(本馬乗りになり)
病气やけがをして病院に
行った、子どもたちの身近な
存在である“あいしゃん”。
お部屋でも赤ちゃん人形を
患者さんになり、お医者
と役割を決めあいしゃん
ごっこを楽しんでいます。

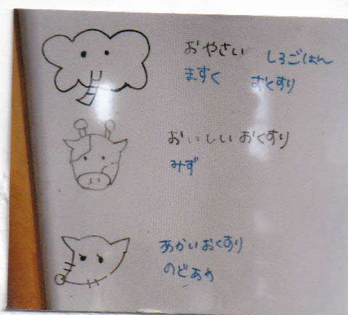


「ねこのあいしゃん」の
絵本を読むと
みんな大喜びに♡

自分で考えて
お薬を作リ
サグータイムで
紹介してくれ
子も!

おかわりのラップです

「ねこねこねこのあいしゃん〜」
という歌は自分たちで自由に作り
を付けて歌う姿も見られます。



ねこのあいしゃんは治療が
終わると、それぞれ患者に合った
プレゼントをくれます。
「みんなにどうしたら何をあげたい？」
と聞くと みんなのもの が出ました。

せっかくなのでみんなが患者さん
にあげるものを作ってあげました。
ペットボトルのお薬は、自分たちで
色水の色・量を考えました。



みんなが作った
プレゼントを使って
ねこのあいしゃん
ごっこをしました。



おてい
しに〜

おにやーご

ねこのあいしゃんが「にやー!!!」
と合図で治療してくれ
場面ではみんな一緒に
せーのどにやー!!! とい
ねこのあいしゃんを手伝って
しました。

